第40回オホーツクブロックカーリング選手権（男子の部）競技説明

1. 競技規則
本大会は、本通知で特に定める場合のほか、JCA競技規則2024年10月改正版及び「JCA競技規則(2025.10)改正の解説」を適用します。

2. 競技方法
本大会は次により行います。
5チームによるラウンドロビンを行い、各ブロックの１位及び２位によるプレーオフトーナメントを行い１位及び２位が北海道選手権への出場権が与えられます。

3. 大会日程等
本大会の日程については、別添の「タイムスケジュール」のとおりです。
競技日時、使用するシートに変更等がある場合は、チームミーティング又は審判長通知の掲示等により通知します。

4. ラインナップカード等
オリジナルラインナップカードは、12/18（木）17時までに事務局（jimukyoku@kitamicurling.org）まで電子メールにて提出してください。
選手交代用ラインナップカードは、本部にありますので変更が必要なチームは申し出てください。
本大会の選手は必ず4人以上での参加とし、3名での出場は認められません。
各試合毎、「オリジナルラインナップカード」に記載された投球順やポジションを変更する場合は「選手交代用ラインナップカード」を「タイムスケジュール」に示された競技開始予定時刻の40分前までに大会本部に提出してください。それ以降は認められません。
試合中に１人の選手が試合を継続できなくなり選手を交代し投球順やポジションを変更する場合は、統括審判員に申告し承認を得るだけでなく、その試合終了後速やかに「選手交代用ラインナップカード」を提出してください。

5. ユニフォーム、ドレスコード
JCA競技ユニフォーム規定を原則とするが、本大会は同一のユニフォームであれば選手名・地域名の有無は問わない。

6. 用具

各選手のスウィーピングで使用する用具は、WCF の用具基準を満たしたものでなければならない。

試合中はその選手のみがその用具を使用するものとする。違反した場合は、ストーンはプレーから取り除かれる。

審判長が特別に許可した場合を除き、試合中にブラシヘッドを取り換えることはできない。許可なく取り換えた場合は不戦敗となる。

交代選手が試合に入る場合、入れ替わる選手が使っていたブラシヘッドを使用しなければならない。新たな用具が使われた場合は不戦敗となる。【C3 (f)】

7. プレーエリア

コーチ席には、オリジナルラインナップカードで登録されたチームメンバー（コーチ１名、チーム関係者１名、及びリザーブ）が着席できます。

コーチ席では、外部との交信等が禁止されています。

記録のためコーチ席でビデオ撮影をする場合は、事前に審判長の承認を得てください。

プレーエリアではユニフォームを着用してください。ただし、コーチ席に着席している時に限り、防寒着の着用を認めます。

コーチとの接触はエンド間、ハーフタイム及びタイムアウト時に接触することが出来ます。試合中のコーチとの会話は認めるが、相手チームがデリバリーを行っている時は会話が出来ません。

8. タイムスケジュール

事前に各チームに配布する。変更があればチームミーティングで通知する。

9. 練習

予選ラウンドロビンは試合開始20分前から、自チームが使用するストーンのみを使った練習時間を5分間与えますので、指示に従ってください。

予選ラウンドロビンでは、赤ストーンを使用するチームが先に練習します。

予選ラウンドロビンでは、練習終了後直ちに LSD を行いますので、LSD を行う選手以外は速やかにアイスから退出してください。

プレーオフトーナメントは試合開始 25 分前から、自チームが使用するストーンのみを使った練習時間を 7 分与えますので、指示に従ってください。

プレーオフトーナメントのストーンの割り当て等については　参照

10. ホッグライン違反

本大会では、センサー付きハンドルは使用しません。

ホッグライン審判が配置されていない場合は、各チーム各選手がカーリング精神に則り、セルフジャッジでの対応をお願いします。

11. LSD の実施方法

ボード側からホームエンドに向かって投球してください。

１投目は時計回り、２投目は別の選手が反時計回りでの投球とします。

予選ラウンドロビンでの各プレーヤーの最低投球回数は２回（時計回り、反時計回り各１回以上です）です。

本大会では、ティーからストーン中心までの距離算出を行います。

ストーンがハウスにかからなかった場合、投球やその他の違反があった場合、投球回数の要件を満たさない投球がなされた場合は、199.6cm と記録します。

12. DSC について

DSC は予選ラウンドロビンで投球された LSD で、最も悪い記録 1 つを除いた平均距離です。本大会における考慮に入れる試合数は 4、考慮に入れる LSD の回数は 8 です。

13. 試合時間

本大会における計時については次のとおりです。

予選ラウンドロビンの試合においては 120 分 8 エンドのランニングタイム制とし 20 分前コール次のエンドで終了とします。

ハーフタイムは 4 エンド終了後に 3 分間設けます。終了 1 分前にお知らせしますので、速やかにゲームできる準備をしてください。なお、ハーフタイムや審判の介入時に計時は止まりませんので注意してください。

終了のエンドで同点の場合は、エキストラエンドを行い勝敗を決定してください。

プレーオフトーナメントは各チームに 30 分のシンキングタイムを与えます。

エキストラエンドが必要な時は、時計をリセットし、各チームに 4 分 30 秒づつのシンキングタイムを与えます。

各エンド間のブレークは 60 秒です。

4 エンド終了後は 5 分間のブレークを設け、その試合コーチ席に入ることが許されたチームメンバーと競技エリアで会い、話し合うことが出来ます。ブレーク終了の 60 秒前に通知しますので、終了時にはゲームが開始出来るように準備をしてください。

各ブレーク終了後、10 秒以内に投球が始まっていない場合、時計が動きます。

14. ノーティックショットの取り扱い

ストーンがセンターライン上に掛かっているかどうか微妙な場合には、そのストーンを置いたチームと反対側のチームが声掛けをし、ストーンの位置を確認してください（審判員に計測を要請することができます)。確認をせずにその後の投球によりストーンが動かされ双方の主張が異なる場合には、ストーンを動かされたチーム（そのストーンを置いたチーム）の主張を優先することとします。

15. チームタイムアウト

プレーオフトーナメントでは各試合につき１回、エキストラエンドではエンドごとに１回、チームタイムアウトを取得できます。

チームタイムアウトは、アイス上のプレーヤーのみコールできます。

チームタイムアウトのコールは、自チームの時計が動いているとき、両手で「Ｔ」の形を作り、計時審判に向かって大きく明確に合図してください。

チームタイムアウトはコーチの移動時間（ホーム側 60 秒、ボード側 30 秒）とチームタイムアウト 60 秒の合計が時計の停止時間となります。

コーチ席に着席している１名が、ホーム側またはボード側で選手と接触できますが、アイスに乗ることはできません。

チームタイムアウト終了 10 秒前に通知します。

16. テクニカルタイムアウト

怪我やその他の酌量すべき事情で、チームはテクニカルタイムアウトを取ることができます。

チームがテクニカルタイムアウトを取る場合の手順は以下の通りです。

(1) テクニカルタイムアウトは、アイス上のプレーヤーのみコールできます。

(2)テクニカルタイムアウトを取る必要があると思った場合、プレーヤーは「Ｘ(腕を交差)」の文字を作って統括審判とタイマー席に合図してください。

(3) 合図がされると、時計は止まります。統括審判がテクニカルタイムアウトを取る必要性について確認し、

ａ）テクニカルタイムアウトを取ることが妥当であると判断された場合、問題に対する対処がなされ、問題が解決したら時計がスタートします。

ｂ）妥当でないと判断された場合、時計はすぐに動き始めます。

17. アイスへのダメージ

プレーヤーは用具、手あるいは体でアイスにダメージを与えてはならない。(【R11(a) 】

アイスへのダメージに関しては以下の方針で対処を行います。

(1)アイスを傷める可能性のある深刻な動作・行動が審判によって見掛けられた場合、または相手チームから判断を求められた場合、審判は計時を止め、確認を行なう

(2)審判はその動作・行動が「偶然起こった」あるいは「避けることのできた」ものだったかどうかを決定する

(3)もしその動作・行動が避けることのできるものだった場合(例: ストーンをデリバリーしてから長い時間手やひざをアイスの上に置いた・スイープの指示を出す際に、ハウス内の氷の上に手を置いた)、アイスメーカーの補助を得てダメージがあるかどうか判定する

(4)ダメージがなければ何も行なわない。ダメージがあれば修復する。

18. その他

エンドの得点が合意した段階で、ハウスを管理する選手は、速やかに審判に得点を申告してください。

試合が終了したときは、勝利したチームがアイスクリーニングをしてください。

試合が終了したシートについては、他のシートが競技中であっても製氷作業を開始する場合がありますので、ご了承願います。

競技エリアでは、携帯電話の電源を切ってください。

チームの荷物は、邪魔にならないよう適切に管理願います。特に貴重品の管理には、十分注意願います。

優勝チームには、北海道選手権の参加料の半額が助成金として贈られます。

また、北海道選手権への出場権を獲得した 2 チームに 5 時間分のシート利用券購入費用が贈られます。